

作成日 2011/1/5

改訂日 2016/10/24

## 安全データシート(SDS)

## 1. 化学物質等及び会社情報

## 化学物質等の名称

パイパー

## 整理番号

1554601-06-0

## 販売会社名

リスロン株式会社

## 住所

大阪市西区北堀江2丁目3番11号

## 電話番号

06-6541-3111(代表) IP:050-3801-1700

## 緊急時の電話番号

06-6541-3111

## FAX番号

06-6531-3335

## 製造会社名

リスロン化学工業株式会社

## 住所

岐阜県瑞穂市十七条1031-2

## 担当部門

研究部

## 電話番号

058-328-5551

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体

区分外

金属腐食性物質

区分1

上記で記載のない危険有害性は、分類対象外または分類できない

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口)

区分4

急性毒性(経皮)

分類できない

急性毒性(吸入・ガス)

分類対象外

急性毒性(吸入・蒸気)

分類できない

急性毒性(吸入・粉じん及びミスト)

分類できない

皮膚腐食性・刺激性

区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分1

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

区分2(呼吸器系 気道刺激性)

標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

分類できない

吸引性呼吸器有害性

分類できない

## 環境に対する有害性

水生環境急性有害性

区分2

水生環境慢性有害性

分類できない

オゾン層への有害性

分類できない

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

金属腐食のおそれ

飲み込むと有害  
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 臓器の障害のおそれ  
 水生生物に毒性

**注意書き**

**【安全対策】**

他の容器に移し替えないこと。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 環境への放出を避けること。

**【応急措置】**

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 特別な処置が必要である(SDS 4.応急措置参照)。  
 口をすすぐこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。  
 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

**【保管】**

施錠して保管すること。  
 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

**【廃棄】**

内容物/容器を都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

**化学物質・混合物の区分**

混合物

成分	濃度(%)	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)	官報公示整理番号(安衛法)	PRTR法種別
水酸化ナトリウム	5%未満	1310-73-2	1-410	-	-
両性界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非公開	-
次亜塩素酸塩	非公開	非公開	非公開	非公開	-
水	非公開	7732-18-5	-	-	-

**4. 応急措置**

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて取り除き、皮膚を流水/シャワーで洗い、医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、医師の診断/手当てを受けること。無理に吐かせないこと。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護

救助者は必要に応じて適切な保護具を着用すること。

**5. 火災時の措置**

消火剤

大量の水

使ってはならない消火剤

酸との接触により有害な塩素ガスを発生するので、炭酸ガス・酸性の粉末消火剤は避ける。

特有の危険有害性

加熱や燃焼により有害で腐食性の塩素ガスを生じる。

<p><b>特有の消火方法</b></p>	<p>ガスの滞留しない場所で風上から消火し、漏洩防止処置を行う。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。</p>
<p><b>消火を行う者の保護</b></p>	
<p><b>6. 漏出時の措置</b></p> <p>人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置</p>	<p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 環境中に放出してはならない。 危険でなければ漏れを止める。 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って空容器に回収し、速やかに廃棄処理する。</p>
<p>環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材 回収・中和</p>	<p>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理すること。</p>
<p><b>二次災害の防止策</b></p>	
<p><b>7. 取扱い及び保管上の注意</b></p> <p>取扱い</p> <p>技術的対策 安全取扱い注意事項</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>接触回避 衛生対策</p>	<p>『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>保管・安全な保管条件</p> <p>技術的対策 混触危険物質 保管条件</p>	<p>消防法の規制に従う。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 保管温度 : 5~40℃ 日光から遮断すること。 換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管場所に施錠すること。 凍結厳禁 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。</p>
<p>容器包装材料</p>	
<p><b>8. ばく露防止及び保護措置</b></p> <p>管理濃度</p> <p>許容濃度</p> <p>ACGIH</p> <p>日本産業衛生学会</p> <p>設備対策</p>	<p>該当成分なし</p> <p>水酸化ナトリウム C 2mg/m3 水酸化ナトリウム 2mg/m3(最大)</p> <p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること</p>
<p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保護具</p>	<p>適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。</p>
<p><b>9. 物理的及び化学的性質</b></p> <p>外観</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>臭い</p> <p>pH</p> <p>沸点、初留点及び沸騰範囲</p> <p>引火点 (°C)</p> <p>燃焼又は爆発範囲の上限・下限</p>	<p>液体</p> <p>黄色</p> <p>特異臭</p> <p>13&lt;</p> <p>約100°C(水と同等と推察する。)</p> <p>引火せず</p> <p>データなし</p>

蒸気圧	ほぼ水と同等と推察する。
比重(密度)	1.12
自然発火温度(°C)	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	酸との混合により塩素ガスを発生する。
化学的安定性	空気・熱・光・金属などに極めて不安定で、放置すると徐々に分解し、有効塩素を失う
危険有害反応可能性	自己反応性、爆発性なし
避けるべき条件	腐食性があるので、鉄製の容器は使用しない アミン類やアンモニアと反応して有害で爆発性の三塩化窒素を発生する 酸と接触したり、pHが低下すると塩素ガスの発生が起きる。
混触危険物質	酸、アミン類、アンモニア、水禁忌物質、アルミ・鉄等の金属
危険有害な分解生成物	酸との混合により塩素ガスが発生する
11. 有害性情報	
急性毒性	
経口	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分4 分類できない成分割合 0.0%
経皮	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
吸入	吸入(ガス): 液体である 吸入(蒸気): 混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6% 吸入(ミスト): 混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
皮膚腐食性・刺激性	混合物としてのデータなし pH 13< 既知成分の分類結果 区分1 分類できない成分割合 0.0%
眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	混合物としてのデータなし pH 13< 既知成分の分類結果 区分1 分類できない成分割合 0.0%
呼吸器感受性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
皮膚感受性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 42.6%
生殖細胞変異原性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 42.6%
発がん性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
生殖毒性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分2 分類できない成分割合 42.6%

特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
吸引性呼吸器有害性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
<b>12. 環境影響情報</b>	
生態毒性	データなし
水生環境急性有害性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分2 分類できない成分割合 0.0%
水生環境慢性有害性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 42.6%
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	混合物としてのデータなし 既知成分の分類結果 区分外 分類できない成分割合 47.6%
その他のデータ	
COD (mg/L)	20 (1%)
BOD (mg/L)	26 (1%)
n-ヘキサン抽出物 (mg/L)	4 (1%)
<b>13. 廃棄上の注意</b>	
残余廃棄物	廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
<b>14. 輸送上の注意</b>	
成分名	両性界面活性剤
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
クラス/等級	9
容器等級	III
緊急時応急措置指針番号	171
成分名	次亜塩素酸塩
国連番号	1791
品名	次亜塩素酸塩(水溶液)
クラス/等級	8
容器等級	III
緊急時応急措置指針番号	154
成分名	水酸化ナトリウム
国連番号	1824
品名	水酸化ナトリウム(水溶液)
クラス/等級	8
容器等級	II
緊急時応急措置指針番号	154
国際法規制	航空輸送はICAO/IATA及び海上輸送はIMOの規則に従う。
国内法規制	

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
特別安全対策	『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

消防法危険物	該当せず	
安衛法	腐食性液体(安衛則第326条)	水酸化ナトリウム
表示対象物質	政令番号 319	水酸化ナトリウム
通知対象物質	政令番号 319	水酸化ナトリウム
有機則	該当せず	
特化則	該当せず	
毒物劇物取締法	該当せず	
化学物質管理促進法(PRTR法)	該当せず	

## 16. その他の情報

## 引用文献

- 1)JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- 2)JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法
- 3)(独)製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本品の適性に関する決定は使用者の責任において行なってください。